

もばら の 議会だより

第133号

平成29年8月15日

発行 茂原市議会報編集委員会

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話 0475-20-1585

FAX 0475-20-1611

http://www.city.mobara.chiba.jp/



日本で一番熱い3日間! 茂原七夕まつり

一般会計補正予算など6議案 並びに発議案1件を可決

8月定例会

平成29年第2回定例会は、6月7日から6月22日までの会期16日間で開かれました。

この定例会では、市長から平成29年度茂原市一般会計補正予算案など計6議案が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決、同意、適当とされました。また、国への意見書提出について、議員発議による提案があり、原案のとおり可決されました。

また、茂原駅周辺の活性化並びに市民会館建設に関する調査研究のため、2つの特別委員会が設置されました。

主な内容

- P 2～P 6 一般質問
- P 6～P 7 議案の概要
- P 7 採決結果一覧
- P 8 委員会の構成
会派別議員名簿



市長 鈴木 敏文



副議長 中山 和夫

就任あいさつ

市民の皆さまには、平素より市政並びに市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私ども、平成29年第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、改めてその職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

もとより微力ではございますが、市民の皆さまの負託と信頼にお応えできるよう最善を尽くし、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいり所存であります。

さて、日々刻々と変化する社会経済情勢の中、本市を取り巻く地域経済及び雇用情勢は、依然として厳しい状況にあります。経済の活性化や雇用の創出のみならず、加速する少子高齢化・人口減少社会への的確な対応、安全・安心なまちづくりの構築等、喫緊の課題は少なくありません。

このような状況から、本市では国の地方創生施策を受けて、「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、諸課題の克服や地域の特性を活かした活力あるまちづくりのために、様々な施策を計画的かつ積極的に展開しておるところであります。

二元代表制の一翼を担う市議会といたしましては、今後も行政のチェック機関としての責務を果たすとともに、市民の皆さまの声が反映される市政が行われるよう取り組んで参ります。また、議員一人ひとりが自ら研鑽に努め、本市の更なる発展と、市民福祉の向上に誠心誠意取り組む所存でありますので、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般質問

6月定例会における一般質問は、6月14日、15日、の2日間にわたり9名の議員により行われました。

杉浦 康 一議員 (もばら会)

○学校再編について

問 学校再編に向けたスケジュール、特に実施計画は、いつごろまでに策定するのか。また、統合により廃校となった学校施設は、今後どのように活用していくのかを伺う。

答 本年5月に自治会関係者や保護者等で構成する「茂原市学校再編審議会」を設置し、小中学校の再編に関する具体的な方策について諮問した。現在、実施計画の策定に向けた審議が行われており、今後は住民との意見交換を行っていく予定である。実施計画の策定期間については、審議会からの答申を受け、庁内での協議や教育委員会会議を経て、本年9月を目標に策定していく。また、学校の統廃合による施設の跡地の活用について

は、公共施設等総合管理計画の推進に関する庁内委員会において、その時々々の行政需要を見極め、幅広い観点から最も有効な活用方法について検討していく。



○本納地区のまびげんこについて

問 本納駅東地区の基盤整備事業として、最初に着手される区画道路1号の事業計画について伺う。また、隣接するJR中曽根踏切と西側の市道の拡幅整備の予定について伺う。

答 区画道路1号については、本年度より用地の取得を行っていく。また、準用河川乗川の橋梁部についても本事業に含め、概ね5か年での完成を目指し進めていきたいと考えている。また、中曽根踏切および踏切より西側の市道についても、区画道路1号の道路改良事業に併せて拡幅する予定であり、今後JRと踏切拡幅の

協議を実施していきたいと考えている。

その他の質問事項
・学区保育について
・茂原市は工業団地について
・中心市街地の活性化対策について

向後 研 二議員 (もばら会)

○企業誘致に伴う待機児童増加への対応について

問 茂原には工業団地は本年10月に完成予定であり、すでに3社の進出が決まる等企業誘致及び労働環境の整備が進む中、6月1日現在で71名を数える本市の待機児童数はさらに増加すると予想されるが、市の対策を伺う。

答 保育枠の確保対策としては、保育士の確保や、アップル幼稚園の「幼稚園型認定こども園」への移行を支援することにより、新たな保育枠を確保できると考えている。また、市の北部エリアと南部エリアに計画している認定こども園を整備することで、新たな就労者の方々のための支援に努めていく。

保育士の確保策としては、ハローワークへの募集依頼と合わせて市ウェブサイトやフェイスブックなど、広報媒体を活用し、広く募集を行っていく。また、保育士養成学校を直接訪問して本市のPRを行うとともに、保育士登録を行っていないながら現在働いていない方、いわゆる「潜在保育士」の掘り起こしを行うため、小中学校を通じて募集チラシの配布など様々な対策を講じていきたいと考えている。

○公共施設（市民会館等）について

問 本市の建築物は築30年以上経過したものが約6割を占め、今後大量に建て替え時期を迎えるが、時代に即した施設数、規模、配置場所とすることが必要である。特に、市民会館について、市民のニーズに合った複合施設として交通の利便性の良い駅周辺で建設する考えがあるのか伺う。

答 昨年度、庁内関係部署の担当者で構成する「市民会館建設検討委員会」において、既存の場所に公民館機能を兼ね備えた複合施設を建てること

ているが、今回の市民会館建設に関する基本構想策定の中で、市民アンケートや市民参加のワークショップ、また関係団体や専門家からの意見等を踏まえ、複合施設の内容や建設場所についても、さらに検討していく。



その他の質問事項
・人口減少への今後の対応について
・夜原公園の年間を通じた賑わいづくりについて
・学校施設の統廃合について

平 ゆき子 議員 (日本共産党茂原市議員)

○就学援助について

問 入学準備金の支給時期は7月であり、多額の出費を要する入学進学に間に合わない。全国各地で入学前支給が実施される一方、本市では実施に至っていない。国から実施できる旨の通知があったと思う

○河川のメダケ等の伐採予定について

問二度と起こしてはならない水害の教訓から、入梅・これから来る台風・ゲリラ豪雨に備え、想定外は許されない。二級河川、特に何年も手付かずの阿久川の三井化学付近に架かる町保橋上下流のメダケ等が目立つが、伐採の予定について伺う。

答阿久川のメダケの伐採については、昨年度、特に繁茂が著しい箇所として、旧茂原工業高校そばにある西谷橋の上流約200メートルと三井化学の北西側にある阿久川橋付近の約320メートルが実施された。

三井化学付近に架かる町保橋の上下流については、メダケの繁茂が著しい箇所であるため、早期に伐採がされるよう県に強く要望を行っているが、伐採時期については現時点で決まっていない。

本年度も引き続き繁茂が著しい箇所の伐採を実施していくと県から聞いているので、市としては、阿久川を含めた二級河川におけるメダケ等の伐採の進捗が図られるよう引き続き要望していく。

その他の質問事項

（福谷 義雄 議員）

・新市民会館の完成に向け、公園の自然を回復し、市民の憩いの場とする。

・市保育士の確保策について

前田 正志 議員 (無党派)

○待機児童について

問本市における待機児童の状況とその要因、及び対策とその効果について伺う。また、今後の長期的な見通しと対策も併せて伺う。

答本年4月の待機児童数は70人であり、年齢別では0歳児が19人、1歳児が35人、2歳児が6人、3歳児が9人、4歳児が1人となっている。

このように待機児童が発生した要因としては、平成27年度にスタートした「子ども子育て支援新制度」により、保育所の利用要件が大きく緩和され、制度施行以来、入所申込者が増加傾向にあることが要因の一つである。また、全国的な保育士不足に加え、女性の社会進出や核家族化の進行、さらには手厚い保育士配置が必要な3歳未満児の入

所希望者が増えたことなどが影響していると考えている。対策としては、保育士の確保と併せて、クラス担任を持つていなかった主任保育士の活用や、クラス配置の工夫などにより、今年度は昨年度より28人多い入所枠を確保したが、予想を大きく上回る利用申し込みがあったことにより、待機児童の解消に至らなかったものである。

少子化の進展により子どもの数は減少傾向にあるものの、女性の社会進出や共働き世帯の増加、核家族化の進行などにより、今後も保育所の利用率は高まっていくものと考えており、今後の対応策としては、継続的に保育士確保に努めるとともに、私立幼稚園の「認定こども園」への移行を促進することや、新たに北部と南部に「認定こども園」を整備することなどで、多様な住民ニーズに対応していく。

所希望者が増えたことなどが影響していると考えている。対策としては、保育士の確保と併せて、クラス担任を持つていなかった主任保育士の活用や、クラス配置の工夫などにより、今年度は昨年度より28人多い入所枠を確保したが、予想を大きく上回る利用申し込みがあったことにより、待機児童の解消に至らなかったものである。

少子化の進展により子どもの数は減少傾向にあるものの、女性の社会進出や共働き世帯の増加、核家族化の進行などにより、今後も保育所の利用率は高まっていくものと考えており、今後の対応策としては、継続的に保育士確保に努めるとともに、私立幼稚園の「認定こども園」への移行を促進することや、新たに北部と南部に「認定こども園」を整備することなどで、多様な住民ニーズに対応していく。

所希望者が増えたことなどが影響していると考えている。対策としては、保育士の確保と併せて、クラス担任を持つていなかった主任保育士の活用や、クラス配置の工夫などにより、今年度は昨年度より28人多い入所枠を確保したが、予想を大きく上回る利用申し込みがあったことにより、待機児童の解消に至らなかったものである。

○終末期医療について

問終末期医療についての本市の考えと、延命治療に対する患者本人の意思を事前に示すための「事前指示書」の普及啓発について伺う。

答終末期医療とは、治療を続けても回復の見込みが難しい段階となった人が、最後まで人としての尊厳を持った生き方ができるように、心や体の痛みを和らげることに配慮することであり、本人や家族の意思を尊重し、医療やケアを提供する医療従事者と十分な話し合いを持ちながら支援を行うことが重要であるとされていることから、市としての考えを示すのは難しいと考えている。

また、「事前指示書」については、現在、千葉県医師会等が様式を作成しており、本市としては、今後、普及啓発について研究していきたいと考えている。

また、「事前指示書」については、現在、千葉県医師会等が様式を作成しており、本市としては、今後、普及啓発について研究していきたいと考えている。



その他の質問事項

（前田 正志 議員）

・かかりつけ医・薬局について

・学校再開と放課後の過ごし方について

・統廃合後の学校の利活用について

山田 広宣 議員 (公明党)

○水害対策について

問当初の計画に対して追加したもの、逆に進捗が遅れているもの、さらには今後の予定を伺う。また、水害対策について最新情報を市のホームページで閲覧できるようにする等、積極的な情報発信が必要と考えるが、市の見解は。

答追加の内水対策として、早野地区の県道茂原大多喜線から西側の排水管を大きくする水路改修を平成27・28年度の2か年で実施したことにより、排水状況が大幅に改善されている。早野水門付近の排水機場整備は、多額の費用を要することから、交付金による事業費確保を図るため、国・県と協議を重ねたことにより、平成28年度の事業着手が平成29年度となった。

今後は100ミリ安心プランに位置付けている第二調節池の増設及び局部改良、堤防嵩上げ、並びに、早野水門の排水機場、下水道雨水ポンプ増強等を平成35年度までの計画期間内に完成させることが

当面の目標となっており、一宮川の拡幅工事については、豊田川合流点までの整備計画が概ね20年となっていることから、早期に完成するよう引き続き国県に要望していく。

また、水害対策については市のホームページを活用し、情報の発信に努めていく。



○空き家対策について

問第6次3か年実施計画では空家等対策計画作成の協議会設置は平成32年度とまだ先であるが、空き家対策を加速する必要があるのではないかと。また、五郷地区を中心に不審火が連続発生しているが、焼け残った空き家への対応を伺う。

答空き家等対策の早急な推進については認識しており、あくまでも平成31年度までを協議会設置及び空家等対策計画の素案作りなど必要な準備期間として位置付けている。また、空き家等の適正管理のための条例等の作成についても

検討しており、準備が整えば、前倒して協議会の設置等を検討していく。

また、空き家であった建築物が火災により焼失後、そのまま放置されている事例について調査・研究し、早期の解決に向けて努力したいと考えている。

その他の質問事項

- ・山田 広吉 議員
- ・防犯カメラ、防犯ボックス
- ・「ライブレコ」ダについて
- ・空き家バンク、空き地対策について
- ・行政の業務、市民サービスについて

石毛 隆夫 議員 (公明党)

○公共交通について

問市民バスの各停留所に、屋根、椅子の設置ができないか伺う。また、市民バスのルートを残しながら、市内全域をデマンド化することについての当局の見解を伺う。

答市民バスの各停留所に屋根や椅子を設置することについては、歩行者等の通行に支障とならないような新たな設置場所の確保や整備費用等が必要となることから、難しいもの

のと考えている。

また、市民バスなどのコミュニティ交通は、民間の公共交通との相互連携により、利便性の高い公共交通ネットワークを構築することで、まちの活性化に寄与できるものと考えている。しかしながら、市内全域にデマンド交通を導入することは、既存の公共交通体系に影響を与えるため、難しいものと考えている。

○高齢者支援について

問高齢者の健康と孤立化の防止のため、空き家、集会所、コンビニエンスストアにコミュニティスペースを設置し、幅広く交流できる場所が確保できないか伺う。また、各小中学校の空き教室を開放することは可能か伺う。

答高齢者の生きがいづくりや閉じこもりの防止のため、身近な所に住民が気軽に通えるコミュニティスペースを作ることは重要であると考えている。

現在、高齢者のコミュニティスペース確保の支援のため、集会所や自治会館等の利用の可否及び借用条件について調査を行っており、現時点で約2割の調査状況となる

が、管理者からは概ね協力的な回答を得ている。まずは残りの集会所等の施設状況を調査し、空き家の活用やコンビニエンスストアのスペース設置については、他の先進地の取り組みを参考に、多世代交流とともに検討していきたいと考えている。

また、学校の空き教室の開放については、各学校では少人数学習等で全ての教室を有効利用しており、使用できる教室には制限があるので、各学校の状況に応じて対応していく。



その他の質問事項

- ・山田 隆夫 議員
- ・教員の長時間労働について
- ・不登校児童、生徒対策について

飯尾 暁 議員 (日本共産党茂原市議団)

○水道行政について

問長生郡市で供給を受ける九十九里地域水道企業団は、創設時から水道料金が高くなるの見込まれていたが、その理由は。県内でも2倍以上の格差、工業用水優先政策での過大な需要見積もりが背景の高料金、基本料金の「従量制」などを、様々な工夫で引き下げを考えたが、その手立ては。

答九十九里地域水道企業団の料金が高くなることを見込まれていた背景としては、県の資料では、九十九里地域は水資源が乏しいため巨額の投資を行って房総導水路事業により利根川から水を獲得したところなどによるものとされている。このような中で、水資源に恵まれず地理的、地形的要因から水道料金が高額となる地域の格差是正のため、千葉県において「市町村水道総合対策事業補助金」が設けられ、この補助金によって水道料金の値上げを抑制しているところである。

県内の水道料金格差解消のため水道料金を引き下げることとは、水道事業経営を圧迫する一因になると考えるので、見直しは難しいものと思われる。まずは長生広域水道と共に、本市としても、九十九里

地域水道企業団に対し、受水費の引き下げ要望を継続していきたいと考えている。

○自治体の交通行政について

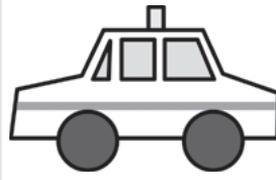
公共交通に係る現在の課題についての考えを伺う。高齢者の交通手段の確保では、運転免許証返納者の増加から、国交省や警察庁からも公共交通網形成の取り組みを求める通達が出されている。市民要望の高い市民バスやデマンド交通の範囲を広げてよいのではないか。

利便性の高い公共交通ネットワークの実現には、鉄道、民間路線バス、市民バス等コミュニティ交通が相互に連携を図ることが重要であり、そのため、適切な機能分担によるネットワークを構築する必要がある。

このような中、コミュニティ交通は、幹線である鉄道、民間路線バスを補完する役割を担う支線として位置付けており、利便の追求により補完的立場を超えないよう交通事業者と調整する必要がある。

コミュニティ交通のエリアを拡大することで交通事業者との競合が発生し、民業圧迫

を招く恐れがあり、既存の公共交通体系に影響を及ぼすことが懸念されるため、高齢者等の交通弱者の移動手段の確保を考慮し策定した茂原市地域公共交通計画に基づく検証等を実施しながら、運行計画など必要な見直しを行い、利便性の向上に努めていく。



その他の専門事項
(取組) 時 間 制
。道路側溝の整備、下水道対策など基本的な政策について。
。内水対策整備計画について。

議案の概要

予算関係

○平成29年度茂原市一般会計補正予算(第1号)

「内容」歳入歳出予算の総額に1023万2千円を追加し、その総額を295億3323万2千円とするものです。主な内容は、コミュニティ活動

支援事業費の増、文化財保護保存事業費の増、管理運営費(図書館)の増等により、増額補正するものです。

条例関係

○茂原市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「内容」指定管理者制度を導入するにあたり、指定管理者の管理の基準、業務の範囲及び利用料金等に関することについて、所要の改正をします。

人事関係

○教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

「内容」任期満了に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に基づき、新たに高仲輝夫氏を委員に任命することについて、議会の同意を求めるものです。

○固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

「内容」任期満了に伴い、地方税法第423条第3項の規定に基づき、諸岡龍一氏を再

任するため、議会の同意を求めるものです。
○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
「内容」任期満了に伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、新たに富田新平氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるものです。

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

「内容」任期満了に伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、新たに鈴木健一氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるものです。

発議案

○教育予算の充実に求める意見書の提出について

「内容」教育が日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるといふ重要な使命を負っていることから、現行の義務教育国庫負担制度を堅持するとともに、さまざまな教育課題を解決するために、教育予算の一層の増額を国に要請すべく意見書を提出しようとするものです。

特別委員会を設置

茂原駅周辺活性化特別委員会

- 委員長 市原 健二
- 副委員長 ますだ よしお
- 委員 飯尾 暁
- 向後 研二
- 杉浦 康一
- 山田 広宣
- 前田 正志
- 中山 和夫
- 鈴木 敏文
- 三橋 弘明
- 常泉 健一

市民会館建設特別委員会

- 委員長 竹本 正明
- 副委員長 岡沢 与志隆
- 委員 石毛 隆夫
- 大柿 恵司
- 平 祐子
- はつたに 幸一
- 小久保 ともこ
- 田畑 毅
- 金坂 道人
- 山田 きよし
- 細谷 菜穂子

平成29年第1回臨時会

平成29年第1回臨時会は、5月12日会期1日で開かれました。

この臨時会には議案6件が提出され、いずれも原案のとおり可決、同意、承認されました。

議案の概要

◎茂原市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

「内容」行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。

◎茂原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「内容」行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。

◎監査委員の選任につき同意を求めることについて

「内容」前任者の任期満了に伴い、新たに監査委員を選任するにあたり、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めらるるものです。

◎専決処分の承認を求めることについて

「内容」地方税法等の一部改正に伴い、茂原市税条例の一部を改正する条例の制定について、急施を要するものとして行った専決処分の承認を求めるものです。

◎専決処分の承認を求めることについて

「内容」地方税法施行令の一部改正に伴い、茂原市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について、急施を要するものとして行った専決処分の承認を求めるものです。

◎専決処分の承認を求めることについて

「内容」市営住宅使用料滞納者による支払督促への異議申し立てを訴えの提起とみなし、訴訟へ移行することとなったため、急施を要するものとして行った専決処分の承認を求めるものです。

平成29年第1回臨時会 議員別表決結果一覧

議案名等	議員名等	審議結果		飯尾	石毛	岡沢	大柿	平	向後	杉浦	は	田	山	前	金	中	山	細	鈴	ます	三	竹	常	市
		承認	全会一致	暁	隆夫	与志隆	恵司	ゆき子	研二	康一	たに	毅	宣	正志	道人	和夫	きよし	菜穂子	敏文	よしお	弘明	本正	健一	健二
報告	第1号 専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第2号 専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第3号 専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	第1号 茂原市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第2号 茂原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第3号 監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成29年第2回定例会 議員別表決結果一覧

議案名等	議員名等	審議結果		飯尾	石毛	岡沢	大柿	平	向後	杉浦	は	田	山	前	金	中	山	細	鈴	ます	三	竹	常	市
		可決	賛成多数	暁	隆夫	与志隆	恵司	ゆき子	研二	康一	たに	毅	宣	正志	道人	和夫	きよし	菜穂子	敏文	よしお	弘明	本正	健一	健二
議案	第1号 平成29年度茂原市一般会計補正予算(第1号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第2号 茂原市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第4号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第6号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案	第1号 教育予算の充実を求める意見書の提出について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	第2号 「国における平成30(2018)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情	採択	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第3号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情	採択	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥
 ※議長は表決に参加しないため、空欄になっています。

委員会の構成

総務委員会

委員長 田 畑 毅
 副委員長 細 谷 菜穂子
 委 員 飯 尾 暁 石 毛 隆 夫
 はつたに 幸一 金 坂 道 人
 竹 本 正 明 常 泉 健 一

教育福祉委員会

委員長 山 田 広 宣
 副委員長 前 田 正 志
 委 員 平 ゆき子 杉 浦 康 一
 山 田 きよし 鈴 木 敏 文
 三 橋 弘 明

建設経済委員会

委員長 向 後 研 二
 副委員長 小久保 ともこ
 委 員 岡 沢 与志隆 大 柿 恵 司
 中 山 和 夫 ますだ よしお
 市 原 健 二

議会運営委員会

委員長 三 橋 弘 明
 副委員長 はつたに 幸一
 委 員 岡 沢 与志隆 大 柿 恵 司
 平 ゆき子 杉 浦 康 一
 小久保 ともこ

会派別議員名簿

もばら会 (6名)

代表 金 坂 道 人 岡 沢 与志隆
 向 後 研 二 杉 浦 康 一
 田 畑 毅 鈴 木 敏 文

公明党 (3名)

代表 山 田 広 宣 石 毛 隆 夫
 小久保 ともこ

政明クラブ (4名)

代表 竹 本 正 明 細 谷 菜穂子
 ますだ よしお 三 橋 弘 明

平成クラブ (2名)

代表 市 原 健 二 はつたに 幸一

緑風会 (3名)

代表 常 泉 健 一 大 柿 恵 司
 山 田 きよし

日本共産党茂原市議団 (2名)

代表 飯 尾 暁 平 ゆき子

無会派 (2名)

前 田 正 志 中 山 和 夫

※定例会終了後、平成28年度一般会計決算を審査する決算審査特別委員会を10月初旬に開催予定です。

月日	会議内容
9月6日(水)	・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の上程説明 ・請願・陳情の上程後委員付託
13日(水)	・一般質問
14日(木)	・一般質問
15日(金)	・議案質疑後委員会付託
21日(木)	・議案等の総括審議

次回の定例会は
9月6日(水)から
 開催されます

茂原市議会では、『市民に開かれた議会』の実現に向けて、積極的な情報公開を推進するため、本会議のインターネット中継を実施しています。本会議の中継は、茂原市議会のホームページからリンクされている、委託業者の管理するインターネット中継専用ページからご覧いただけます。

本会議のインターネット中継を放映しています